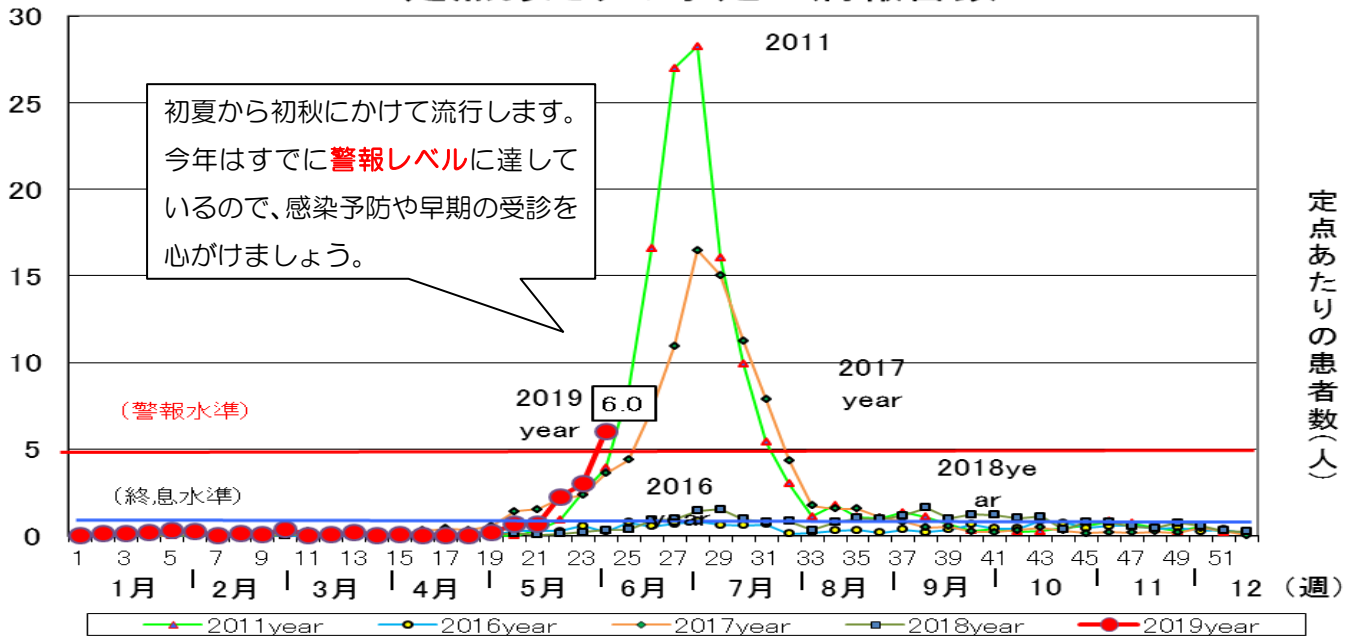


定点あたりの手足口病報告数



手足口病ってどんな病気？

主に夏季に流行するウイルスの感染によって起こる感染症です。発症報告数の約90%が5歳以下の子供です。軽い症状で数日間のうちに治ることがほとんどで、予防接種や治療薬はありません。

症状: 口の中や手の平、足底、足背などに2~3ミリの水疱性の発疹が出ます。発熱は約1/3にみられますが、あまり高くないことがほとんどです。

治った後も唾液、鼻汁などから1~2週間、糞便から2~4週間わたって排泄されると言われています。また、感染しても発病しないままウイルスを排泄している場合もあります。

感染経路: 飛沫感染、接触感染
潜伏期間: 3~5日

感染予防のポイント

- ★ せっけんと流水での十分な手洗い！
- ★ 排泄物を適切に処理し、しっかり手洗い！
- ★ タオルの共用はやめましょう
- ★ おもちゃ等は個人別にしましょう
- ★ 施設での流行時は次亜塩素酸ナトリウムで消毒を行いましょう

※手足口病の原因となるウイルスはアルコールが効きにくいと言われています。

手足口病は軽い症状で数日間のうちに治ることがほとんどですが、まれに髄膜炎や脳炎など重症な合併症を引き起こすことがあります。

- ★ 高熱が出る
 - ★ 発熱が2日以上続く
 - ★ 嘔吐する
 - ★ 頭を痛がる
 - ★ ぐったりとしている
 - ★ 水分が取れずおしっこが出ない
 - ★ 呼びかけに答えられない
- 上記の症状が見られた場合はすぐに医療機関を受診しましょう。



重症化のサインに注意！